

私の好きな京都「出町」

大内 清楓

(2018年度入学 鈴木ゼミ2期生)

1. 概要

私は京都市にある出町という場所が好きである。鴨川がすぐ近くにあったり、世界遺産の下鴨神社や糺の森があったりするため観光客も多いが、自然に囲まれており、河原町にも比較的近いので、暮らしやすい場所である。鴨川左岸に京阪電車の出町柳駅があるため「出町柳」という名前が地名として定着しているが、元は出町と柳の二つの地名を合わせた駅名である。出町は鴨川右岸の河原町今出川付近一帯を指す俗称、柳は鴨川左岸の周辺の俗称である。

2. 出町桝形商店街

『今日も元気だ』と元気よく書かれた看板が目を惹く出町桝形商店街は、出町商店街の一角の桝形通にある全長164mのアーケード街で、東は鴨川、西に同志社大学、南は京都御所に囲まれている。歴史と文化に育まれてきた京都でも有数の規模を持つ商店街として親しまれており、生鮮食品店や衣料品店を中心に44店舗が軒を連ねている。また、鯖街道の終着点としても有名で、整備された石畳には地元の子どもたちによるサバなどの海の生物が描かれた陶板が埋め込まれていたり、2008年には天井から吊り下げられたサバのモニュメントが造られ、「わかさばちゃん」と名付けられたりしている。



私は出町桝形商店街の昭和っぽく、ノスタルジックな雰囲気が漂っているところが好きだ。行列の絶えない老舗和菓子屋として知られる「出町ふたば」は連日、多くの人が訪れ長い行列を作っている。明治32年創業で、100年以上愛され続ける豆大福が看板メニューだ。創業100年の「満寿形屋」でも昼時には絶品の鯖寿司や、うどんセットを求めて行列ができる。商店街の中は昔ながらのお店だけではない。「KYOTOGRAPHIE京都国際写真祭2020」の開催に合わせ、常設プロジェクトスペースとして「DELTA」が開設された。ギャラリーやカフェ、宿泊施設などを備え、開催期間中だけでなく様々なプロジェクトの発信拠点にしようというものである。地域を巻き込んで盛り上がるのはとても良いことだ。多様性に富んだ面白い出町桝形商店街だからこそ、新旧が混じり次の新しい文化が生まれるのではないかなと思う。

3. 出町座

出町座は、出町桝形商店街の中にある映画館である。地下と2階にスクリーンがあり、1階には書店「CAVA BOOKS」とカフェ「出町座のソコ」が併設されている。書店では、上映作品の原作や関連書籍などが並び、カフェでは通常のカフェメニューやアルコール飲料のほか、上映作品にちなんだドリンクが提供されている。3階のフリースペースは、ギャラリーやトークイベント



の会場として使われている。

私は1回生の夏休みに出町を探検している際、たまたま出町座を見つけた。当時大ヒットしていた『カメラを止めるな!』が上映されていたため、人生で初めて1人映画鑑賞を行った。約40席の小さなシアタールームで見た映画に感動し、その日から「出町座で1人映画鑑賞」が私の趣味に追加された。出町座のソコで購入したキュウリサンドとスタチサイダーも爽やかでとてもおいしく、素敵な夏の思い出になった。それから何度も足を運び出町座で映画を鑑賞している。大きな映画館で上映されている映画は少なく、マイナーな映画がたくさん上映されている。ミニシアターだからこそできることだと思い、そこも魅力的に思う。現在、新型コロナウイルスの流行により各地でミニシアターの存続が危ぶまれている。たくさんの思い出がある出町座を残していくために、グッズの購入や感染対策を徹底して鑑賞するなど自分ができる支援をしていきたい。



4. 鴨川デルタと飛び石

鴨川デルタとは、東から流れてくる高野川と西から流れてくる賀茂川が合流する三角州のことで、ギリシャ文字のΔ（デルタ）に似た形からこのように呼ばれるようになった。かつては「糺河原」と呼ばれており、相撲や猿楽、競馬も催され、人々が集う広場であった。現在でも、家族連れや大学生のグループなどでにぎわっていたり、ドラマやアニメの聖地巡礼として訪れたりする人も多い。人が集まる場所というのは今も昔も変わらない。



亀や鳥などの形をした飛び石が有名で、多くの方が飛びながら渡ったり、休憩したりしている。私自身も友達と涼を求めて川に入ったり、飛び石を渡ったりした。ぐらつきは全くなく安全に渡ることができる。これは河床の安定を図るために、帯工（川の底が削られるのを防ぐ横断構造物）の上にコンクリートブロックを配置しているためである。河川環境整備の際に、京都土木事務所職員のアイデアで、千鳥や亀のようなデザインブロックを採用したようだ。鴨川デルタは老若男女問わず誰でも楽しめる憩いの場所なのである。



5. まとめ

出町は、どこか懐かしくあたたかい場所でありつつ、新しい文化や感性を取り入れて常に進化をしている町だと思った。私が通っている京都産業大学からは少し離れているため、休日に散歩したり、映画を見に訪れたりしているだけだが、いつかは出町で暮らしてみたいという願望がある。京都で大学生活を送る中で、このようなお気に入りのまちを発見できたことはとても嬉しい。魅力がたくさんある出町のことがさらに好きになった。

参考

出町桝形商店街公式HP <http://masugata.demachi.jp/contents/puro/puro.html>

出町商店街wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/出町商店街>

KYOTOGRAPHIE <https://kyotopi.jp/articles/4oszY>

出町座 Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/出町座>

京都観光オフィシャルサイト <https://ja.kyoto.travel/tourism/>

single02.php?category_id=10&tourism_id=2493

日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO47728320U9A720C1AA1P00>